



平成 27 年 12 月 9 日(水)

国土交通省 関東地方整備局

横浜国道事務所

— お知らせ —

圏央道(釜利谷JCT～戸塚IC(仮称))沿線の小学校を対象とした
「現場見学会」(第1弾)を開催します。

～工事現場の見学を通じて、高速道路の果たす役割やモノづくりの面白さを知って頂くために～

横浜国道事務所では、NEXCO東日本と共同で、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の釜利谷JCT～戸塚IC(仮称)【高速横浜環状南線】の整備を進めています。

今回、本区間の工事現場において、沿線小学校児童を対象とした「現場見学会」を開催しますのでお知らせします。

この見学会は、小学校の「総合的な学習の時間」の一環として行われるものです。

1. 日時 平成27年12月10日(木) 10:00～11:00
(雨天の場合は中止します。)

2. 場所 栄IC・JCT(仮称)の予定地(横浜市栄区、次ページ参照)

3. 見学者 横浜市立千秀小学校4年生 31名(予定)

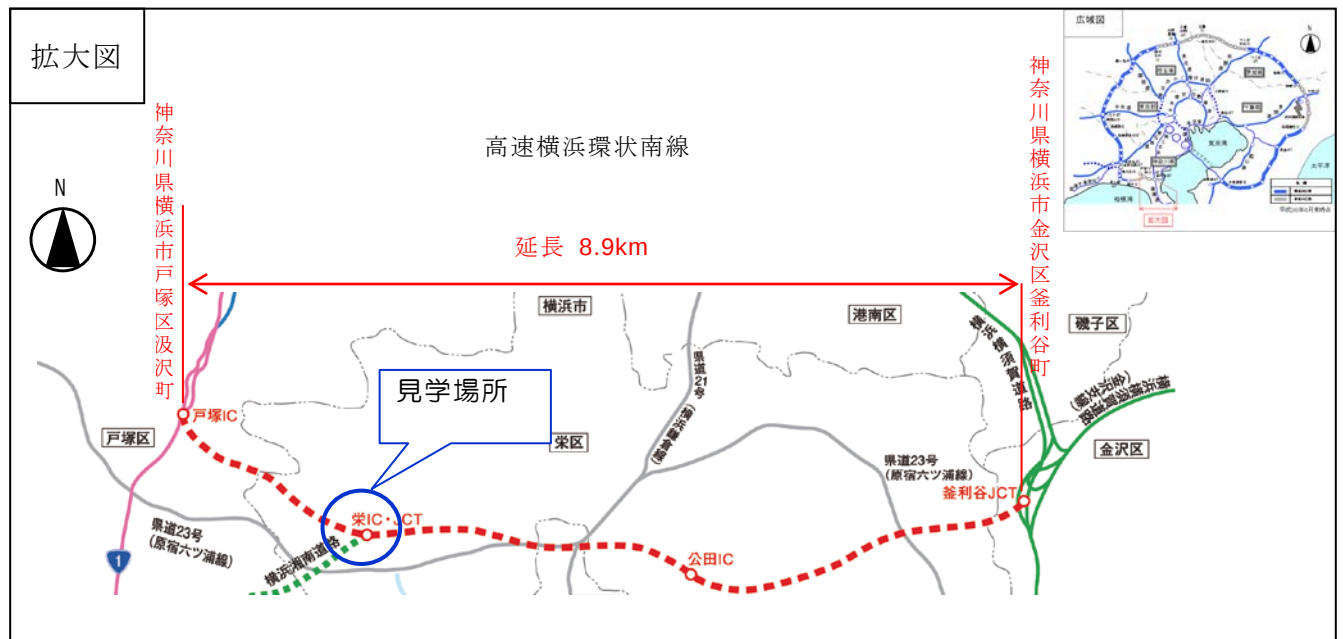
※取材を希望させる方は、事前に申し込みをお願いします(下記の問合せ先まで連絡をお願いします)。

お問合せ先

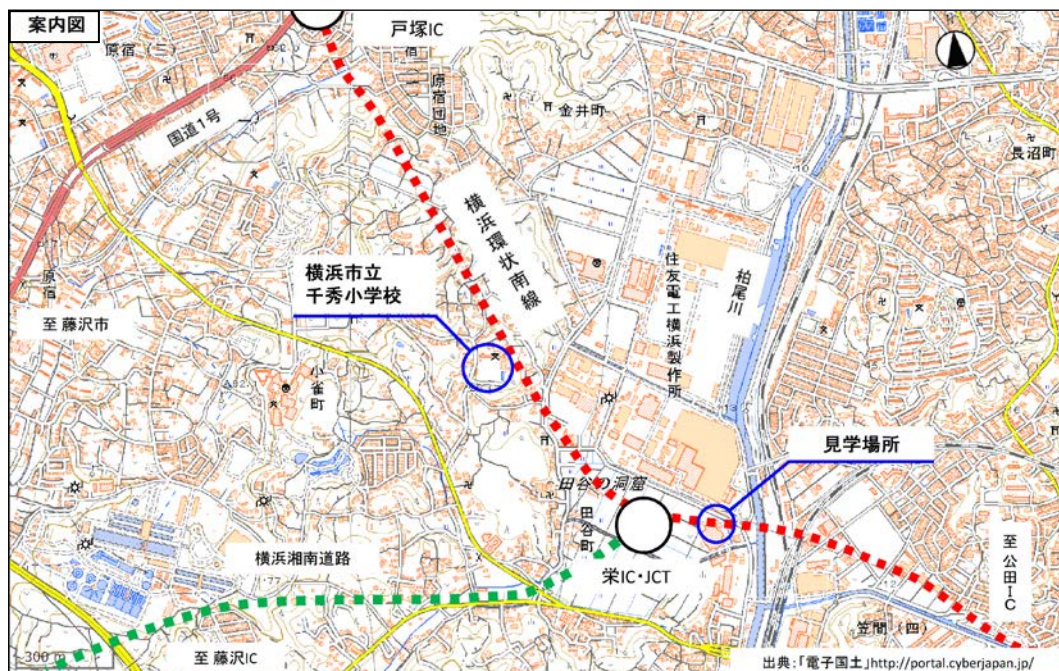
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981(代表)

計画課長 本村 信一郎

○見学場所



※未開通区間の IC、JCT は仮称です



(高速横浜環状南線)

路線の概要

高速横浜環状南線は、都心から半径約40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの自動車専用道路である圏央道の一部であり、都心から伸びる放射状の道路を環状に連絡することにより、都心への交通を分散し、渋滞の緩和等に寄与します。

また、高速横浜環状南線は、横浜都心から半径約10～15kmを環状に結ぶ横浜環状道路の一部であり、横浜都心部の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに環境の改善へ寄与し、さらに、横浜市の経済活動とくらしを支える社会資本として重要な役割を果たす道路です。

なお、これまで多くの地権者のご協力を得て、平成27年9月末現在で約94%※の用地を取得し、順次工事を実施しているところです。

※用地取得率は、事業認定申請における事業地(起業地)を基とした取得率